



舟おろしの儀式「チッサンケ」(8/18)



一人ひとりがまちづくりの主役です

広報 **びらとり** 9 No. 628 2013 月号

輝くびらとり未来につなごう

□今月号のトピックス□

- 平取町暴力団の排除の推進に関する条例が制定されました
- よい食一生 食育だより
- まちのひろば
- 教育委員会からのお知らせ
- 長寿者番付表
- すこやかだより
- 図書館へいこう

平取町暴力団の排除の推進に関する条例 が制定されました

平成25年9月1日施行

平取町では、暴力団の排除について基本理念を定め、町、町民、事業者の責務を明確にするとともに、暴力団の排除に関する施策を関係団体等と連携、協力のもとに地域が一体となって推進し、町民の安全で平穏な生活の確保、地域社会の健全な発展および青少年の健全な育成に寄与することを目的に条例を制定しました。

また、この条例を更に実効性のあるものにするため、8月6日に門別警察署と「平取町暴力団の排除の推進に関する合意書」を締結し、暴力団の必要な情報や排除に関する支援等、町と警察署との連絡体制を図ることとなりました。

ここでは、この条例の概要についてお知らせいたします。



町の責務

- ◆暴力団の排除に関する施策の実施
- ◆道、所轄警察署、その他関係機関との密接な連携
- ◆道が実施する施策への協力
- ◆所轄警察署、その他関係行政機関に対する情報提供

連携・協力

町民の責務

- 暴力団の排除活動への自主的な取組
- 町が実施する施策への協力
- 暴力団との一切の関係の遮断
- 町、所轄警察署、その他関係行政機関に対する情報提供





町の役割

- ① 町の事務事業における措置
町の建設工事および下請けその他の町の事務または事業からの暴力団の排除
- ② 公共施設の利用の不許可等
町が設置、管理する公共施設の利用に関する暴力団の排除
- ③ 町民等に対する支援
町民および事業者に対する情報提供、その他必要な支援をし、所轄警察署との連携により安全の確保を図る
- ④ 広報および啓発活動を行う
- ⑤ 青少年に対する教育等のための措置
暴力団の排除の重要性認識のための教育、青少年の育成に携わる者に対する情報の提供、その他必要な支援



町民・事業者の皆さんの役割

- ① 暴力団の威圧を利用することの禁止
自己利益のために暴力団を利用することの禁止
- ② 利益供与の禁止
暴力団の資金源となる金品や財産上の利益の供与の禁止
- ③ 祭礼等における主催者等の措置
行事、興業等を行うものに対して、暴力団を関与をさせない



暴力団追放



以上、暴力団は、さまざまな形で町民・事業者の皆さんの生活や事業活動に介入し安全を脅かす反社会的勢力です。本条例をご理解いただき、社会全体で暴力団排除の取組をお願いします。



● この条例に関する問合せ先
町民課生活環境係
☎ 4・61113

● 暴力団についての相談先
札幌方面門別警察署
刑事・生活安全課

☎ 01456・2・0110



基本理念

暴力団を「恐れない」
暴力団に「資金を提供しない」
暴力団を「利用しない」

よい食一生 ● 食育だより

保健福祉課 保健推進係 No.2

10月27日(日) “食育セミナー” 開催!

★平取町の『食育推進計画』★
“よい食一生・びらとり食育プラン 大きくな～れ”

【食育推進実践計画の3つの柱】

■「人づくり」■

“三つ子の魂百まで” 『食』を知る体験は、五感(視・聴・臭・味・触)すべてを研ぎ澄ませ、豊かな心と体をつくる。

～具体的取組～

- ☆食育フォーラム・セミナーの開催
- ☆キッズチャレンジ
- ☆子どもクッキング など

■「健康」■

日本の心“ごはん”“みそ汁”日本型食生活は、まさに『健康食』

～具体的取組～

- ☆成人健診や乳幼児健診事後の栄養相談
- ☆カロリー表示 など

■「地産地消」■

地域でとれたものをその地域で消費することは、新鮮で栄養価も損なわれない食材を安心・安全に食べられる。

～具体的取組～

- ☆ふるさと給食
- ☆ニシパの恋人ランチ など

“びらとり町食育セミナー”の開催案内
平取町の食育推進計画とその取り組みについて深く知ってもらい、食育の重要性や取組を行うことの大切さについて広く普及・啓発することを目的としています。

【日時】10月27日(日) 13:00～16:00

【場所】ふれあいセンターびらとり
多目的集会室

【内容】

＜基調講演＞

『“地産地活”で人と地域の元気づくり ～美味しい、楽しい地元の食の魅力に注目!～』



講師：天使大学教授 荒川義人 先生

＜食育活動報告会＞

- ◇平取高校での食育活動について
- ◇ふるさと給食“ニシパランチ”
- ◇ニシパの恋人ランチ～地産地消の会～

※発表後、全体で食育の活動・取組についての懇談会を講師の先生・報告者・参加者で行う予定です。

＜その他＞

－食育活動パネル展－

- ・キッズチャレンジ ・ふるさと給食
- ・子どもクッキング ・ニシパの恋人ランチ
- ・ニシパランチ～保育所～ など

よい食一生 ニュース

道教育庁で、平成24年に全道無作為抽出による、小5・中2の児童・生徒、約7,000人を対象に生活習慣、食習慣、家庭での食事、保護者の意識等のアンケート調査が実施されました。

起床時間や朝食の欠食状況など調査結果の概要及び報告書が下記に掲載されています。

＜道教育庁HP＞

<http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/kyusyoku/syokuseikatutyousahoukoku.htm>

詳しい結果の特集は、次回の食育だよりに掲載したいと思います。

早寝・早起き・朝ごはん
は元気の基本!!



いつまでもお元気で長生きしてください

東

西

寿

平成二十五年

長寿者番付表

筆前頭	小結	関脇	大関	横綱
及山タツミ	加賀屋ミサヲ	橋本スイ	崎廣ミサヲ	渡邊とめ
97歳	98歳	99歳	100歳	101歳
振内町	芽生	荷葉	本町	振内町

筆前頭	筆前頭	小結	関脇	大関
平村上男	石谷 猜	池田正明	賀集キミエ	油谷みき
97歳	97歳	98歳	99歳	100歳
本町	豊糠	山向	紫雲古津	本町

前頭三				前頭二				
山田ハル	平村きみ子	菅原喜美子	窪田はる	山崎今朝代	宮北富貴	高橋イト	久保田ヒサ	伊藤福治郎
95歳	95歳	95歳	95歳	96歳	96歳	96歳	96歳	96歳
本町	本町	荷葉	本町	本町	本町	豊糠	振内町	幌毛志

前頭三				前頭二			
松永ミツエ	中田こはる	佐々木長興	葛野ヨシ	山際イク	水正壽々美	高山キヌ	沖野コト
95歳	95歳	95歳	95歳	96歳	96歳	96歳	96歳
旭	振内町	小平	本町	本町	振内町	貫気別	旭

前頭五				前頭四		
福澤ハスエ	高瀬ミヨ子	小林善直	貝澤じつ	三好 一	坂東重男	貝澤ハル子
93歳	93歳	93歳	93歳	94歳	94歳	94歳
振内町	芽生	本町	二風谷	振内町	山向	荷負

前頭五					前頭四		
水澤リツ	中西ミツ	齋藤ミツ	川端千代子	奥村フジ	水口さくゑ	野口忠義	池本 操
93歳	93歳	93歳	93歳	93歳	94歳	94歳	94歳
本町	振内町	本町	岩知志	振内町	旭	紫雲古津	本町

※9月1日現在に平取町に住む85歳以上の方の人数
男性77人 女性194人 計271人

平成25年9月1日現在 (敬称略)

びらとり まちのひろば

義経神社例大祭 (8/14 ~ 15)

今年もお盆の帰省客を交えて、例大祭が開催されました。
今年の源義経は小山椎名さん（平取中1年）が、静御前は互野愛結花さん（平取中1年）が選ばれて、華やかな衣装を身にまとい、みこしとともに本町市街地を練り歩きました。
このほかにも町内会の子どもみこしや、平取義経なるこ会によるパレード形式のよさこい演舞も行われました。



夏休み子どもクッキング (8/9)

夏休み中の子どもたちに、料理を通じて食べることの楽しさや『食』への関心を深めてもらうことを目的とした子どもクッキングに、町内の小学生22人が参加しました。
この日のメニューは、びらとり和牛を使った「肉巻きおにぎり」と「みそ汁」で、子どもたちは真剣な表情で、ダシを取ったり野菜を切っていました。



第44回チブサンケ (8/18)

今年で44回目を迎える伝統儀式「チブサンケ」が二風谷地区で行われました。
午前中は時折強い雨が降り、舟おろしの儀式中止も危ぶまれましたが、午後には天候が回復し、予定どおり丸木船での川下りを行うことが出来ました。

地域づくりインターン報告会 (8/19)

都会の若者が地方で地域づくり体験をする「地域づくりインターン」の報告会が開催されました。体験者の千葉大学の高橋さんは、2週間の農家や牧場・民宿で体験したことを踏まえ、町の活性化について提言されました。報告会では、出席者から質問や意見も出され、高橋さんは、都会に戻ったら平取の良さをPRしたいと話していました。





第27回ふれあい広場 (8/24)

今年で27回目となるふれあい広場が、ふれあいセンターびらとりで開催されました。

老若男女楽しめるふれあい広場は、吹奏楽や舞踏・ダンス、よさこいなど趣向を凝らしたアトラクションや、特産品販売や軽食類のふれあいショップも出店され、来場者は残暑を楽しむかのように賑わいを見せていました。

平取ダム建設に伴うカムイノミ (8/25)

平取ダムの建設の継続が決定し、芽生のダム建設地域にてアイヌ協会平取支部によるカムイノミが執り行われました。

出席したアイヌ協会平取支部や道開発局、町議会と町の関係者は、ダムに関連する事業に携わる方の安全と、沙流川流域環境の保全を願いながら、祖先と先人に鎮魂と慰霊の意を表して祈りを捧げました。



平取町農業体験イベント (8/31～9/1)

農業に興味のある女性に農作業体験をしてもらいながら、町内の農家青年と交流を行う農業後継者対策イベントが2日間の日程で開催されました。町外から16人の女性が参加し、青年達による歓迎式の後に収穫体験を行い、夜は二風谷ファミリーランドで特産品を使った夕食会と交流会が開催され、参加者それぞれが会話を弾ませて楽しみました。

戦没者追悼式 (9/5)

戦争で尊い命を失われた206人の方々に、ご遺族やご来賓の方々から70人あまりが参列して、「平取町戦没者追悼式」が平和塔前で執り行われました。

川上町長より式辞が述べられ、参列者は戦没者の御霊に対し、白い菊の花とともに哀悼の誠を捧げ、恒久平和を祈念しました。



各地区で敬老会が開かれています

毎年9月第3月曜日は「敬老の日」として、多年にわたり社会につくしてきたご老人を敬愛し、長寿を祝う日です。

また、9月15日から21日までの1週間は「老人週間」です。社会を支え続けた高齢者の方々に感謝し、敬意、高齢者から子どもまで全ての人々が、いきいきと暮らせる社会の実現に向けて努力しましょう。



教育委員会からのお知らせ

わかりやすい指導を通して子どもの学力を高めるには

～平取町教育研究協議会が研究集会を開催～

平取の子どもたちの教育の充実のため、学習指導要領に基づいた自主的・創造的な研究活動を通じて自らの資質向上に努め、教育活動を積極的に推進することを目的に町内小中学校の教職員が集う「平取町教育研究協議会」（教研協）の研究集会が9月3日に開催されました。

当日は、平取小学校、平取中学校、振内中学校で各教科の公開授業と「一人ひとりを引きつけ、わかる授業づくり」や「子どもたちが生き生きと取り組める教材の指導法」等について熱心な研究協議が行われ、その後も道德、特別活動、特別支援教育など8つの課題別分科会等で個人、部会、学校での研究の成果や反省の交流が行われました。

同協議会は今後も、「一人ひとりを伸ばす学習指導法の研究～わかりやすい指導を通して子どもの学力を高めるにはどうしたらよいか～」をテーマに、部会ごとの実践・検証を中心に据えながら、町内教育事業に対する協力や調査研究など町の教育振興に必要な事業に取り組みます。



どんどん声をかけて質問もたくさんしてください

～外国語指導助手（ALT）が着任～

8月2日、新しい外国語指導助手（ALT）としてデyna・ニコル・ドットソンさんが着任しました。

デynaさんはアメリカのオハイオ州出身ですが、既に5年間、釧路、帯広、豊頃でALT等を経験しており、よさこいソーランのチームに加わるなど北海道の暮らしに馴染んでいます。趣味はスノーボード、キャンプ等とても活動的です。好きな食べ物はラーメン、焼き肉、お好み焼き、アイスクリーム…。

子どもたちについては、「とてもまじめ。ちょっとはにかみ屋さんのところも…。遠慮せずに、どんどん声をかけてたくさん質問してください。仲良くなりましょう！」と話してくれました。



～教室から～

平取小学校3学年の皆さん（7月2日「人権教室」
イメージキャラクター「人KENまもる」君と
「人KENあゆみ」ちゃん、講師の方々と一緒に）



『子ギツネヘレン』の原作者が講演

10月12日、平取中学校を主会場に開催される日高地区PTA研究大会・母親研修会の中で、映画『子ギツネヘレン』の原作者、竹田津実氏の「野生が伝えたかったこと」と題した講演が行われます。

本講演は平取町家庭教育学級全体研修を兼ねて実施されますので、大会参加者以外の保護者や町民の皆さんの参加も可能です。詳細は大会事務局（平取中学校 ☎ 2-2415）にお問い合わせください。

緑豊かなキャンプ場で体験学習

～わくわく自然体験スクール～（故 森武雄氏寄付事業）

町内の小学5年生を対象とした自然体験学習をニセウエコランドにて、8月6日～8日の2泊3日で行い、3校から22人（男子10人、女子12人）が参加しました。

テント設営をして寝泊りし、4班に分かれ3日間を通して野外炊飯をするほか、植物の勉強をしながらフットパスを歩くなど自然を感じたり、釣り針作りと魚釣り、花火、五右衛門風呂、きもだめしなど夏ならではの活動も楽しみました。



フットパスでの植物の学習

また、最終日には、にぶたに湖畔でEボートに乗り、班全員で息を合わせて行うボート漕ぎを体験しました。

3日間とも天候に恵まれ、参加した児童は他校の児童との交流を深め、協力することの大切さも学び、夏休みの良い思い出づくりができました。



最終日の集合写真

ダリの版画と木のアートを鑑賞してきました

～わくわく感動体験ツアー～

人づくり事業実行委員会主催事業では、8月31日に北海道旭川美術館にて、「奇才・ダリ版画展とアートにすわろう！展」を鑑賞してきました。

『シュルレアリスムの思い出』という画集にある「天空の像」は、足の長い像が空高くまで描かれており、宇宙に近づきたいという奇才・ダリの願望を垣間見ることができ、参加者は迫力ある作品を鑑賞していました。

この他、ダリ流分析によるピカソ、ミケランジェロなど名だたる芸術家の価値比較表などもありました。

また、「アートにすわろう！展」では、木でできた、さまざまな椅子に実際に座ってみて作品の良さを味わいました。



旭川美術館前にて

～サークル紹介～

平取混声合唱団コールフロイデ

コールフロイデは今年32年目を迎えました。
1週間に1度とにかく楽しもうという気持ちで、集まっていますので参加してみませんか？
いつでも気軽に練習を見に来てください。

活動日 毎週木曜日（19:00～21:00）
活動場所 中央公民館 音楽室
《会員募集中》 連絡先 貝沢寛子（☎2-4061）

創立年	昭和56年
代表者	貝沢 寛子
会員数	10人



教育委員会からのお知らせ

励まし合いながら全員が頂上へ！「小中学生登山」



8月1日、小学4～6年生と中学生を対象とした「小中学生登山」が今年も行われ、室蘭市の「室蘭岳（標高911m）」に19人の参加者が挑戦しました。

あいにくの曇り空のもと、ボランティアスタッフを含む6人が引率し、25人が一列となり山頂を目指してスタートしました。

前日の雨で足元が滑る中、急な上り坂や岩場の難所は大変だったようですが、参加者同士で励まし合いながら何とか乗り越え、約1時間30分後、無事全員で山頂に到着しました。少し涼しい山頂でお弁当を食べた後の下山では、いくらか足取りが軽くなったようです。

登頂者には後日、町民体育館より登山証明書と、3年連続登頂者3人には記念品も贈られました。



今年も達成！「第29回振内町民ラジオ体操100日大会」



8月31日、役場振内支所前に町民約50人が集まり、5月24日から始まったラジオ体操100日大会の最終日を迎えました。

29回目の今年は、子どもからお年寄りまでの65人と5団体が参加し、その内10人の方が見事100日を達成されました。途中参加も自由ですが、半数の方が75日以上参加し、全員の日数合計は4,018日にもなりました。

最終日に参加した川上町長は「毎朝のラジオ体操で自らの健康を維持するのは町民のかがみであり、誇りに思います」と参加者をねぎらいました。



広報びらとり8月号における記事掲載誤りのお詫びと訂正

8月9日発行しました広報びらとり8月号（No.627）の8ページ「第14回平取町小学生陸上競技大会開催」の記事で、名前を誤って掲載しました。誤った記事を掲載した事を訂正するとともに、皆さまにご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

（正）100m5年男子 西山 京侑

マキリ（小刀）の造形をみる

受け継がれてきたアイヌ民具の造形

マキリ（小刀）は狩猟・採集、木彫、皮剥ぎ、炊事など、暮らしの中のあらゆる場面で用いられる必需品です。かつては男女ともに腰に下げていたもので、山へ行くときに獣から身を守る刃物としても重宝されていました。

刃部の入手方法は、時代によって変化してきました。近世以前は道外から持ち込まれたものを交易や贈与・労働の対価として手に入れていましたが、近代以降は地域の鍛冶屋さんに注文して作るやり方が次第に定着していきました。

さやと柄を自分で作り、丁寧な文様を施すのがマキリづくりの伝統です。古くは、すじ彫りの彫刻が多く用いられていましたが、次第にウロコ彫りの技法も多くなっていき、今日に受け継がれています。

ものづくりに込めた思い

男性が作って女性に贈るメノコマキリ（女用小刀）は、かつては求愛のしるしであったと言われています。美しい文様を施してプレゼントしたメノコマキリを女性が腰に下げてくれば求愛を受けたことになり、そうでなければ拒否したということであったそうです。

また、マキリのさやだけを腰に下げていることは、未亡人の証であったともいわれています。夫が早死にした場合、かつて送られたメノコマキリのさやだけを残して埋葬するからです。

博物館にはこうした来歴をもつメノコマキリが収蔵されています（写真）。旧蔵者はペナコリに住むおばあさんで、寄贈された当時（昭和29年）は、さやだけが残っている状態でした（柄と根付けの部分は故萱野茂氏により加えられています）。



メノコマキリ（女用小刀）

地域のアイヌ工芸として

マキリはその造形美と用途の多様性から、アイヌ工芸品としても高く評価されている道具でもあります。松浦武二郎コレクションや国内外の博物館にも数多くの収集資料があり、今日の二風谷におけるアイヌ工芸振興においても、とりわけ制作・販売が重要視されています。

当博物館でも様々なデザインを施したマキリが数多く収蔵されていることから、10月15日から2カ月間の予定で収蔵資料展として公開していく予定です。地域の方々にも、ぜひこの機会にいろいろなマキリをご観覧ください。

※マキリ（小刀）

小刀の総称で、少し反りがある両刃が刀身に用いられます。メノコマキリ（女用小刀）は、マキリの三分の二くらいの大きさで反りを強くした刃が使われます。

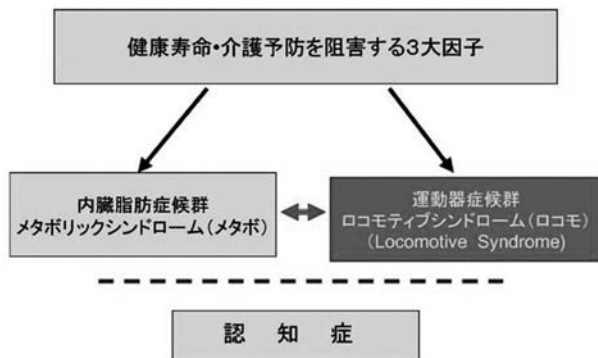
さやと柄の材料は、堅くて摩滅しにくいトベニ（イタヤカエデ）や柔らかくて彫りやすいプシニ（ホオノキ）などで、さやに巻いて締めるひもはサクラの皮が用いられます。

用途によって形が使い分けられ、名称も変わります。イナウケマキリ（イナウを作る小刀）、レウケマキリ（曲がった小刀）、イリマキリ（皮はぎ用小刀）、スケマキリ（包丁）などがあります。

目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

—保健福祉課—



Q「存知ですか?」
☆新国民健康病☆
『ロコモティブ
シンドローム』

ロコモティブシンドロームとは、運動器症候群のことで、骨や関節、筋肉などの運動器が衰え「立つ」「歩く」といった動作が困難になり、要介護や寝たきりになってしまふこと、また、その危険性が高い状態のことをいいます。略して『ロコモ』という呼び名がつけられています。

ロコモを予防するには…
『運動』と『栄養』が不可欠

運動

自分のレベルにあったストレッチやウォーキング、ラジオ体操など、手軽な運動から始める。

栄養

バランスのよい食生活に合わせ、骨づくりに欠かせない栄養素「カルシウム」「ビタミンD」「ビタミンK」「マグネシウム」を積極的にとる。これらの栄養を多く含む食品は左記のとおりです。上手に組合わせて食事をつくりましょう。

【骨の材料】

〈カルシウム・タンパク質〉
牛乳・小魚・大豆製品、卵、肉、魚など。

【腸内吸収を高める】

〈ビタミンD〉
きのこ類、魚など

【体内でのカルシウム調整】

〈マグネシウム〉
海藻、青菜、ナッツ類など

【骨づくりを助ける】

〈ビタミンK〉 〈ビタミンC〉
納豆、青菜、緑黄色野菜、緑黄色野菜、果物など。

【運動】～はつらつウォーキング事業～

みんなで歩こう DAY in 二風谷

爽やかな秋の二風谷ファミリーランド周辺を、楽しく散策しませんか?

身近な資源を生かし気軽に実践できるウォーキングに専用のポールを使い歩くノルディックウォーキングを取り入れ、健康的な一日を過ごしませんか?



ウォーキング終了後は、ファミリーランド内の温泉と食事を楽しむことができます。

【日時】10月6日⑧ 10:00～13:00

【集合場所】二風谷ファミリーランド駐車場

【持ち物】軽い運動のできる服装・履物・タオル・飲み物

(※先着15人の方にノルディックポールを貸出します。)

【問合せ先】保健福祉課 保健推進係 (☎4-6112)

【栄養】

牛乳ときな粉の組合せは骨づくりに欠かせない!!

《ミルクきな粉餅》

【材料】(2人分)

A 牛乳 200ml
片栗粉 大さじ3
砂糖 大さじ1・1/2
きな粉 大さじ4



〈黒みつの作り方〉

黒砂糖粉 大さじ2 水 大さじ1

※耐熱容器に入れよく混ぜ、電子レンジ(500W)に30秒かけ、かき混ぜながら冷ます。

【作り方】

- ①鍋にAを入れてよく混ぜてから、中火にかけホベラでかき混ぜながら煮る。
- ②煮立ったら弱火にし、ひたすらかき混ぜながらとろみがつくまで煮る。水でぬらしたバットに移し冷ます。一口大に取り分け、皿に盛ってきな粉と黒みつをかける。

図書館へいこう 平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 10:00～18:00 土・日曜日 10:00～17:00
 ○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。
 TEL 4-6666 FAX 4-6871 E risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『無垢の領域』／桜木紫乃
 『襲名犯』／竹吉優輔
 『正妻』上・下／林真理子
 『ライオンの棲む街』／東川篤哉
 『政と源』／三浦しをん
 『代官山コールドケース』／佐々木譲
 『北の街物語』／内田康夫
 『死神の浮力』／伊坂幸太郎
 『菩提樹荘の殺人』／有栖川有栖
 『すなまわり』／鶴川健吉
 『働かないの れんげ荘物語』
 ／群ようこ
 『とっておきの幽霊』／赤川次郎
 『かくて老兵は消えてゆく』
 ／佐藤愛子
 『生きる事はおもしろい』／五木寛之



【家庭・生活・趣味】

『また作って!と言われる孫ごはん』
 ／本谷恵津子
 『ひとりて巻くテーピング』
 ／伊藤マモル
 『有元葉子の「和」のお弁当』
 ／有元葉子
 『帆布のトートバッグと色々なバッグ』
 ／皿海佐多子



【社会・経済・その他】

『不登校かな?!と思った時に読む本』／田中登志道
 『戦後日本史の考え方・学び方』
 ／成田龍一



新しいDVD がりました



- ・「ハロー！チップとデールがやってきた！」
- ・「スパイダーマン：ザ・ヴェノム・サガ」
- ・「ファンタスティックフォー：レジェンド・ビギンズ」
- ・「いまを生きる」
- ・「リアル・スティール」
- ・「バグズ・ライフ」
- ・「チキン・リトル」
- ・「ひつじのショーン」1・2
- ・「Mr. インクレディブル」

蔵書点検のお知らせ

10月22日(火)～25日(金)

上記の期間、蔵書点検のため図書館は休館となります。期間中は図書の貸し出しはできませんので、ご了承下さい。

図書の返却はふれあいセンター正面玄関の横にあります「ブックポスト」に返却して下さい。

26日(土)からは通常通り開館いたします。

図書ワゴン（移動図書館車）運行日程【10月】

3日(木)【貫気別地区】

- 10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前
- 11:30～12:00 貫気別生活館
- 13:15～13:45 芽生生活改善センター
- 14:00～14:30 旭生活館

4日(金)【振内地区】

- 11:00～12:00 山の駅ほろしり館
- 13:15～13:45 岩知志ふれあい館
- 14:15～14:45 豊糠生活改善センター

- 貸出期間は、次の巡回日までになります。
- 利用者カードがなくても、ご利用できます。

10月の休館日

7・14・15・21～25・28日

11月の休館日

3・4・11・18・23・25日





今月のワンショット

担当課へは直通
電話が便利です

役場関係電話番号

平取町役場（本庁）
 総務課(代表) ☎2-2221
 まちづくり課 ☎2-2222
 産業課 ☎2-2223
 税務課 ☎2-2224
 出納室 ☎2-2225
 建設水道課 ☎2-2226
 議会事務局 ☎2-2227
 アイヌ施策推進課
 ☎2-2341
 農業委員会・土地改良区
 ☎2-2695

ふれあいセンターびらとり
 ☎4-6111
 保健福祉課 ☎4-6112
 町民課 ☎4-6113
 児童館 ☎2-3026
 子ども発達支援センター
 ☎2-3400
 地域包括支援センター
 「ほほえみ」 ☎2-3700
 平取町社会福祉協議会
 ☎4-2267
 図書館 ☎4-6666

平取町教育委員会
 中央公民館 ☎2-2619
 町民体育館 ☎2-2749
 二風谷アイヌ文化博物館
 ☎2-2892
 沙流川歴史館 ☎2-4085

役場振内支所
 ☎3-3211
 役場貢気別支所
 ☎5-5024

平取町国民健康保険病院
 ☎2-2201

平取町外2町衛生施設組合
 ☎2-2024

日高西部消防組合平取支署
 ☎2-2361

■ふるさと給食「ニシパランチ」(平取小1年生)(9/4)

町のおいしい農畜産物を使った「ニシパランチ」第2弾は、びらとり和牛のカットステーキでした。

投稿作品

すずらん短歌会詠草

ナイターのスタートダッシュに感動し
手塩にかけた馬主の思い

藤田 卓

菓子の如丸め 行ききたる牧草よ
長柄のフオーク今 出番なし

石川原 多満代

トマト食む小さい頃の孫達は
百面相をして笑いふりまく

中原 千鶴子

支笏湖のスワンボートに乗る親子
じっと見ていて目頭うるむ

高橋 洋子

今年又「幌尻祭り」に撒く餅を
収入源と皆で請け負う

相田 のぶ子

初もぎのトマト供えて香り焚く
夫を想いて朝手を合わす

市橋 恵美子

器具をつけ束縛さわった我が足よ
はずした分身をじっと見つむる

中沢 三二子

まちの人口

人口	5,511 (1)
男	2,672 (2)
女	2,839 (▲ 1)
世帯数	2,597 (▲ 9)
外国人住民数	131

()内は前月比 8月末現在

発生状況

発生件数	1件 (▲ 6件)
死者数	0人 (▲ 3人)
傷者数	1人 (▲ 6人)
()内は前年比 8月末現在	
死亡事故ゼロ日数	463日